

# やまだんの 山田野

35

独立行政法人  
国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末5963  
TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

## 第3回 International Conference on Heart & Brain(ICHB)に参加して 副院長 吉田 光宏

平成28年2月25日から27日の日程で、フランスのパリで開催された「心臓と脳の国際会議」に出席し、レビー小体病の診断は、「脳」だけでなく「心臓」を診ることによって正しく行えることを発表してきました。この事実は、私が、1996年に論文発表して以来、20年間で多くの論文が、日本を中心に報告され、エビデンスが蓄積されてきています。以前は、心筋MIBGシンチは、パーキンソン病やレビー小体型認知症では、保険適応が認められていませんでしたが、4年前に保険審査上認められることになり、さらに、国際的にもレビー小体病診断の補助検査として認知されてきています。

レビー小体病診断に用いる他の核医学検査としては、脳ドーパミントランスポーター測定や脳血流分布を評価するSPECTがありますが、レビー小体病診断に核医学検査をいくつも行うのは、患者さんの身体的負担や医療経済的観点からは、望ましい事ではありません。今回の発表では、レビー小体病の診断に困った時に、どの検査を行うのが最も効率的であるかについて報告してきました。

今回の国際学会参加は、平成27年の11月13日夜に、パリで同時多発テロ事件があり、「非常事態宣言」が解除されない中の出張でした。

学会参加キャンセルも脳裏を過りましたが、既に、高額な学会参加費や旅費を支払い済みであり、北陸病院の経営に悪影響を及ぼすわけにもいかず、世界に当院の存在を知らしめて来るほかないと決意して出国しました。

しかし、フランスは、アメリカと違って、想像していたより、厳しくない入国審査で入国することができ、これで、テロ再発が防げるのかなあと拍子抜けの感が否めませんでした。

パリ滞在中は、例によって学会場とホテルの往復で、さして観光もすることなく過ごしました。途中ルーブル美術館を右手に見て、セーヌ川沿いに少し歩くとオルセー美術館があつたので、立ち寄ると、ゴッホの絵画などが常設展示されていました。

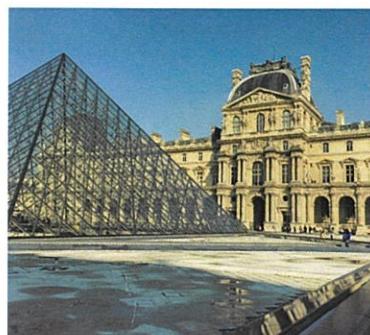
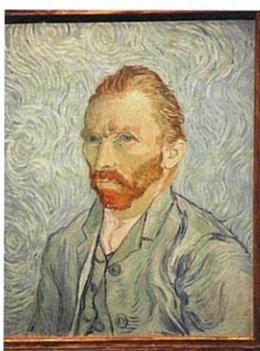
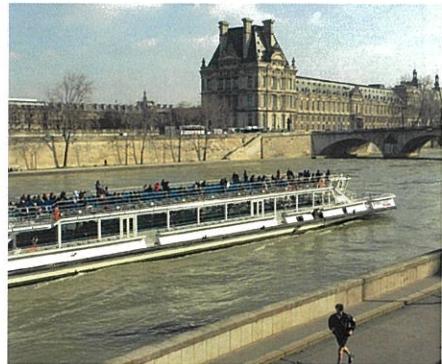
観光客は疎らで、街中は比較的空いており、人気のあるレストランの予約は、直前でも可能でしたので、日本人調理師のフランス料理店を2店舗訪れました。いずれもミシュランとやらで評価が高く、値段が結構高かったことは、記憶していますが、何を食べたか思い出せません。

帰国便のチェックインまで時間があったので、シャルルドゴール空港のロビーで、イヤホンで音楽を聴きながら依頼原稿をまとめていると、アサルトライフルを携え迷彩服の軍人らしき人から話しかけられました。最初は、フランス語で話しかけてくるので、私がスキンヘッドのフランス人に見えたのでしょうか？それともゴルゴ13か。イヤホンを外して、「舛添ちゃうからフランス語は、わからへん。英語で話してくれ」というとちょっと表情が硬くなり、英語で「早くあっちへ行け」とのたまわれました。通常ならもう少し、突っ込みを放ってみるのですが、ライフルを持っている相手に絡む勇気もなく、そそくさと安全そうなラウンジへ退散しました。

肝心の「心臓と脳の国際会議」は、心臓病と脳血管障害の関連に焦点を当てた研究が多かったですが、数名の方にレビー小体病に興味を持って質問していただきました。

さて、まだ、腰の重くない好奇心旺盛な北陸病院の皆さん！臨床研究活動で、研究費を調達し、その研究成果を世界の人々に知ってもらいましょう。

最後に、病院業務として国際学会で発表させていただき、病院に不在の間、業務代行していただいた、坂本院長先生、小竹泰子先生、精神科の各先生方、事務課、看護課、薬剤科、その他関係各位及び研究に協力していただいた患者さんとご家族に深謝いたします。



平成27年度

# QC活動発表会を開催

平成28年2月15日(月)13:30~15:00 会議室

当院では、医療現場で働くスタッフひとりひとりが自己啓発・相互啓発し、医療職の専門家として成長し続けることが大切だと考え、平成24年より、それまで行っていた医療安全活動発表会から発展させたQC活動発表会を年1回行っております。

## QCとは

quality control (品質管理) の略です。  
QC活動とは、継続的に製品・サービス・  
仕事などの質の管理・改善を行うことです。

### 演題

- |  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 家族と医療者のフラットなコミュニケーション               | 西2カフェ隊：西2階病棟          |
| 2. 木を見て森を見ず！？～医療安全管理研修の出席率向上を目指して～     | 地域医療連携室               |
| 3. お薬手帳所持数UPに向けての取り組み                  | お薬手帳渡し隊：薬剤科           |
| 4. 骨折事故防止プロジェクト－南1階作業療法の取り組み－          | Reha★Star：リハビリテーション室  |
| 5. 共同USマニュアル作成                         | 共同専隊宝劍次々：放射線科・検査科     |
| 6. 医療観察法病棟におけるロードマップの活用に向けて            | 安心してください。：心理療法室       |
| 7. ADHDと医療安全                           | 医局                    |
| 8. 足白癬のケアの徹底                           | フットケア清潔隊：南1階病棟        |
| 9. 栄養剤の見直しによる費用対効果～治療食の質の確保～           | 食事の質守り隊：栄養管理室         |
| 10. 安心して下さい！見てますよ～患者観察見直しに取り組んで～       | 患者見守り隊：西1階病棟          |
| 11. 市場化テスト、岐平君の自己採点～契約業務の軽減と経費削減をめざして～ | じゃ○ねっとた○たのもっとお安くし隊：事務 |

### 結果

#### 最優秀賞 足白癬のケアの徹底

足白癬の患者様のフットケアが確実に行えるよう、軟膏の整理や処置方法を見直しました。その結果、裸足で歩行する患者様が減り、清潔を維持することや局所の皮膚状態も改善することができました。

#### 優秀賞 家族と医療者のフラットなコミュニケーション

医療チームと患者様やご家族とフラットな話し合いの場をつくることによりフラットなコミュニケーションの場をもつことができました。今回の成果を今後の医療・看護にいかしていきたいと思います。

#### 敢闘賞 骨折事故防止プロジェクト－南1階作業療法の取り組み－

認知症病棟において、機能訓練の環境見直しにより患者様の転倒・転落のリスクが減少しました。また、患者様の身体面に大きな負担をかけず、活動に集中しやすい環境となりました。



# 看護部新人看護師紹介

平成28年度4人の新人看護師が北陸病院の職員になりました。  
就職して1ヶ月、それぞれの現在の気持ちと豊富を紹介します。



南1階病棟  
(認知症病棟)

中谷あかね

就職して1ヶ月、まだまだ分からぬ事ばかりですが、優しい先輩に支えてもらいながら看護師としてがんばっていきたいと思います。



南2階病棟  
(精神急性期病棟)

萩町麻衣

患者さんとコミュニケーションをとるのが難しいですが先輩ナースの対応をみて学び、今の自分が出来ることを着実に出来るように日々努力していきたいと思います。

南3階病棟  
(精神身体合併病棟)

井上紗羅



西2階病棟  
(神経難病病棟)

野崎かえで



就職して1ヶ月が経ち毎日多くの事を学んでいます。これからも1日1日を大切にして頑張っていきたいと思います。

## 看護教育プログラムに基づき新人看護教育を行っています

### 集合研修 看護技術研修の様子

経口与薬



薬の確認を担当者とともに行っています

採血



モデルの腕を使用し採血を実際行います

各部署では教育担当者が中心となりOJTを実施。新人看護師のサポートをしています。

患者様は4人のフレッシュな笑顔に癒やされていることだと思います。

まだまだこれから学ぶことも多いですが、私たちは暖かく見守りつつも安全で安楽な看護の提供が出来るよう指導を行っていきたいと思います。

## 外来担当医表

項目	月	火	水	木	金
精神科（初診）	市川・坂本	石橋・市川	白石・石橋	池田・細川	細川・白石
精神科（再診）	石崎・石橋	白石・池田	松下・石橋	市川・石崎	池田
神経内科	吉田	小竹	吉田	吉田	小竹
内 科	(渡辺)	渡辺	渡辺	(渡辺)	(渡辺)
睡眠外来（初診）			細川	細川	
睡眠外来（再診）	吉田	細川	細川		
専 門 外 来	もの忘れ外来（吉田・坂本・市川・池田） 統合失調症セカンドオピニオン外来（白石） パーキンソン病外来（吉田・小竹） 遺伝カウンセリング外来（小竹） 睡眠外来：睡眠障害（細川） 認知行動療法外来（うつ、不眠）（白石）	重症心身障害児<者>外来（石崎） 禁煙外来（白石） 認知症セカンドオピニオン外来（吉田）			
●診察は完全予約制となっております。地域医療連携室にご相談ください。					
●受付・診療時間・・・8:30～11:30					
	【地域医療連携室 直通電話】 <b>0763-62-1950</b>				

### 看護師・療養介助員・看護助手募集中!

看護師の資格をお持ちの方を随時募集しています。子育てが一段落したからまた働いてみたい方、ゆっくり患者さまと関わる看護をしたい方、大歓迎です。私たちと一緒に働きませんか。話好き・世話好きな方、看護助手として病院で働いてみませんか。仕事は看護業務の補助や患者さまの介護、病棟内の清掃などで、経験や資格は不要です。勤務時間についてはご相談ください。



### 【交通アクセス】

#### ◆交通機関

JR城端線、城端駅より、タクシーで約5分。

#### ◆高速道路

東海北陸自動車道、福光ICより約5分。

#### ◆南砺市コミュニティーバス

JR城端駅・福光駅より出ています。



## 独立行政法人 国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末5963

**TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460**

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hokuriku/>

【編集・発行】北陸病院

【広報担当】白石・高木・今泉・坂本